

はまなす句会（十一月二十三日）（第百十七回）

俳句とう闇を手さぐる夜長かな

圭二

肌寒や夜のうつつとわが余生

菊枝

紅葉山縫いつつ流る梓川

由美子

一人居の心もぬらす秋の雨

久子

生きて来し証けなげや破れ芭蕉

克司

グランドの甲高き声秋の暮

玲子

子ら帰り元の二人に夜の長し

則子

